

# 令和6年度 しまねの人づくり大交流会 2024

## 1 趣 旨

令和2年度から「社会教育士」の称号付与が始まり、従来の公民館等職員、学校教員や教育委員会職員だけでなく、首長部局職員、企業やNPO法人等多様な属性・分野での「地域づくりを担う人づくり」に資する実践に注目が集まっている。

本県においては、令和2年度以降252名の社会教育士が誕生している。その一方で、社会教育主事講習の受講の有無を問わず、公民館等職員、社会教育委員、地域学校協働活動推進員等をはじめとして、長年にわたり多くの熱心な社会教育関係者によって「人づくり」が進められ、最近では、中・高校生や大学生等若者による地域活動も広がっている。

そのような状況を踏まえ、令和4年度より各教育事務所単位で「社会教育士等研修」を開催している。社会教育関係者や社会教育に関心のある方等を主な対象として、学びをとおしたつながりづくりの取組を進めているところである。

そこで、本交流会は「社会教育士等研修」の拡大版と位置づけ、県内の関係者が一堂に会し、「地域づくりを担う人づくり」の実践に触れたり、思いを同じくする参加者同士で交流したりすることにより、学びをとおした県全体のネットワークづくりを促すとともに、今後の実践に向けての機運の醸成を図る場とする。

2 テーマ ひらく つながる しまねの人づくり2.0

3 日 時 令和6年11月15日(金) 9:30~16:30

4 会 場 島根県民会館(〒690-0887 島根県松江市殿町158)

5 対 象 「地域づくりを担う人づくり」に取り組んでおられる方、これから取り組んでみたい方、関心のある方

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 県及び各市町村社会教育委員、公民館等関係者                            | <input type="checkbox"/> 社会教育主事(有資格者を含む)及び社会教育士 |
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動関係者及び親学ファシリテーター等家庭教育支援関係者                | <input type="checkbox"/> 学校運営協議会委員              |
| <input type="checkbox"/> 高校魅力化コンソーシアム関係者                                  | <input type="checkbox"/> 各市町村社会教育担当者            |
| <input type="checkbox"/> 県及び市町村関係者(教育魅力化、地域振興(小さな拠点づくり等)、防災、福祉、産業、環境、医療等) |   |
| <input type="checkbox"/> 学校教職員、企業、NPO等社会教育及び社会教育士に関心のある方等                 |   |

6 参加者 158名

## 7 本交流会の様子

(1) 体験・展示コーナー(9:30~10:45)

参加される皆さま同士が「集って、楽しめる」場を提供しました





(2) 開会行事・趣旨説明 (10:45~11:15)

主催者を代表して、島根県教育委員会・野津建二教育長が開会の挨拶と、県教育庁社会教育課社会教育スタッフ・福本修司調整監が本交流会の趣旨説明を行いました。



(3) 島根県版社会教育人材認証式(11:15~11:45)

本県独自に創設する社会教育人材認証制度（しまねの社会教育師・しまね社会教育サポーター）の説明と、代表者6名による認証式を実施しました。



(4) 実践発表(13:00~14:50)

学校、公民館等、地域、民間などの多様なフィールドで展開されている「地域づくりを担う人づくり」に資する実践について、2会場に分かれて合計6実践の発表を行いました。





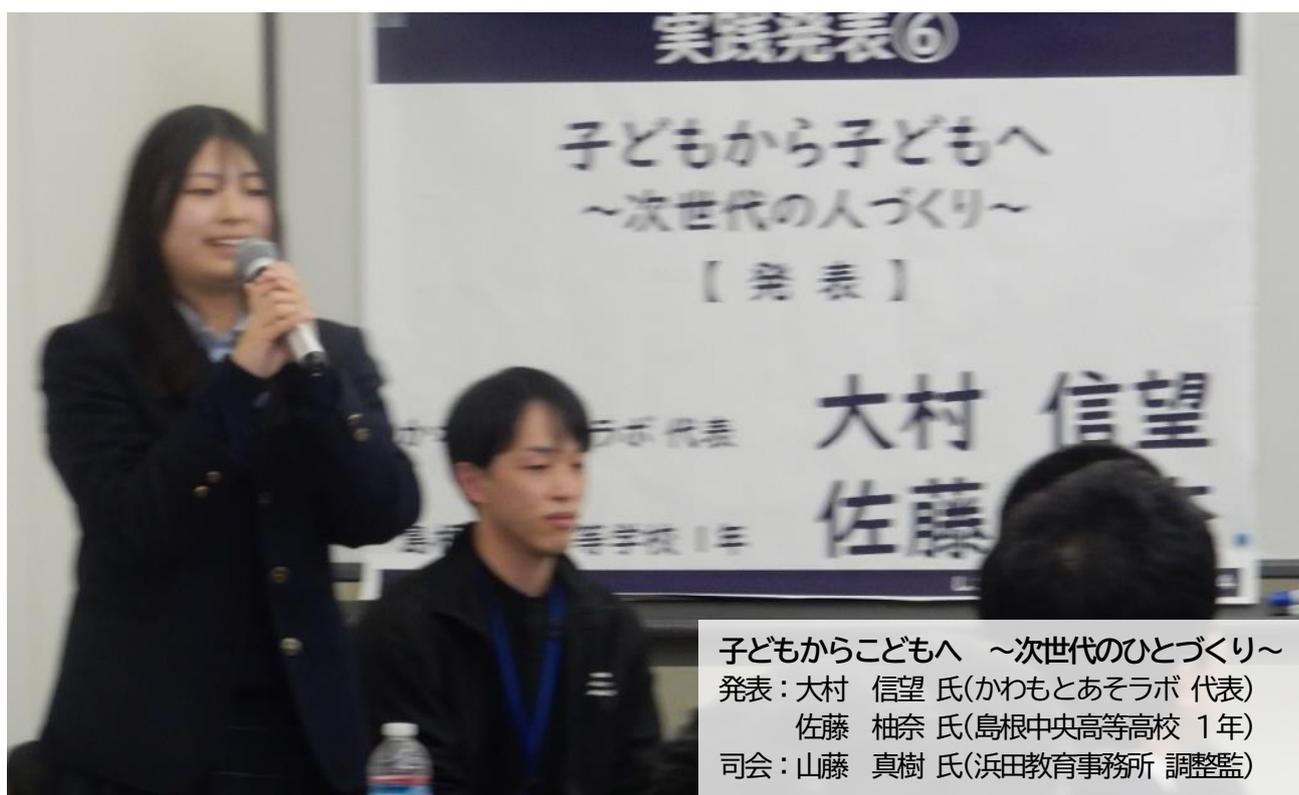
いっしょに話そう、中学校区でひとつに！ ～「地域でGoToボランティア」からうまれたもの～  
 発表：小林 和彦 氏(木次地区学校運営協議会 会長)  
 青砥 晃子 氏(雲南市教育委員会 地域コーディネーター)  
 山根 陽子 氏(雲南市教育委員会 社会教育指導員【社会教育士】)  
 司会：安井 寿裕 氏(出雲教育事務所 企画幹)



ふるさと広瀬とともに生きる人づくり ～学校・地域で取り組むふるさと教育と生き方学習をとおして～  
 発表：吉田 茂延 氏(安来市立広瀬中学校 校長【社会教育主事有資格者】)  
 司会：橋津 健一 氏(松江教育事務所 調整監)



住民パワーは両輪で ～谷公民館・谷自治振興会～  
 発表：高橋 利英氏(谷公民館 主事【社会教育士】)  
 門脇 順子氏(谷公民館 館長)  
 永田 一博氏(谷自治振興会 会長)  
 司会：安井 寿裕氏(出雲教育事務所 企画幹)



子どもから子どもへ ～次世代のひとづくり～  
 発表：大村 信望氏(かわもとあそラボ 代表)  
 佐藤 柚奈氏(島根中央高等学校 1年)  
 司会：山藤 真樹氏(浜田教育事務所 調整監)

(5) 全体交流(15:00~16:10)

参加者全員が一堂に会し、「えんたくんワールド・カフェ」による対話をとおした交流を行いました。



8 参加者からの声 (アンケートより ※一部)

- ・今回は、職場の役割というよりも、個人的なねらいをもって参加しました。自分自身が人として、何をして、どう生きていくのか。自分には、何が出来るのか。いろいろと参考になることがあり、参加されている方からエネルギーをいただける、有意義な時間になりました。ありがとうございました。
- ・私事で恐縮ですが、職務上、社会教育推進の部署にいません。が、先に示された答申にもあるとおり、社会は変わり続けるし、地域も職員も変わるので、本日の研修会はとても必要と、思います。
- ・島根県内には、官民間問わず社会教育士がおられます。もっと、広く社会教育士さんが参集できるともっとしまねの人づくりが高まるのでは、と思います。
- ・実践発表が大変素晴らしく、私も頑張ろうというパワーと具体的なヒントをもらうことができました。また、魅力あふれる実践をしていたり熱い思いをもっている多くの人と出会ったり、語り合ったりすることができ、とても幸せな時間でした。来年度、各市町村からさらに多くの人が集う会になり、チーム島根として盛り上がっていきたくらいなと願っています。運営スタッフの皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。
- ・実践発表は、社会教育士の方々それぞれの現場で役割をもって活躍されていて、その手法や課題解決のプロセスを伺うことができたことがたいへん良かったです。全体交流では、多様な立場、地域の方々とお話しでき、自身の価値観を揺さぶる中で新たな問いが生まれ、今後の活動に変化をおこす自信につながりました。ありがとうございました。
- ・県外からの途中参加でしたが、とても刺激的でした。ありがとうございました。
- ・退職後、色々な研修会に参加しているが、その度に新たな学びがあり刺激を受けています。たくさんの方がつながり、社会教育の取組が広がるとよいと思います。
- ・発表者が多分野にわたっていて、社会教育の精神がいろんなところに及んでいて嬉しく思いました。
- ・「この指、止まれ！」で実践発表意欲がある方はどんどん発表の場にして欲しい！
- ・人づくりは公的な方だけが担うことではないと思います。現在は子ども＝学校という認識から民間人の参加は稀な状態です。もっと企業や民間事業者の参加者を増やすべきだと考えます。

- ・今日は沢山のご縁をいただきました。機会をいただきありがとうございました。
- ・各地に地域をよくしようという気持ちで様々な活動に取り組んでおられる方が大勢いることが分かりました。新たな制度を機に、島根県全体がより魅力的で住みやすい地になっていくよう期待しています。

